

青の煌めきあおもり国スポ2026第80回国民スポーツ大会 福島県代表選手選考について

1. 青の煌めきあおもり国スポ2026第80回国民スポーツ大会について

- 1) 日程：令和8年10月15日（金）～10月19日（火）
- 2) 会場：カクヒログループアスレチックスタジアム（新青森県総合運動公園陸上競技場）
- 3) チーム編成：男子19名以内女子19名以内、選手合計29名 監督2名で構成する。但し、JAAF公認コーチを取得しているものが、男子監督または女子監督として出場する場合、30名まで出場することができる。

2. 参加資格

- 1) 福島陸上競技協会主催大会のいずれかに当該種目で出場していること。
- 2) トップアスリートの国民スポーツ大会参加資格の特例措置対象者で国民スポーツ大会に出場の意志がある競技者は、予選会免除で選考の対象とする。
- 3) 成年選手については、国民スポーツ大会ふるさと選手制度による「ふるさと選手登録」を福島県に登録しておくこと。

3. 選考基準

- 1) 成年選手は令和7年8月23日から令和8年8月11日までに、少年選手は令和8年3月1日から令和8年8月11日までに開催される国民スポーツ大会選手選考競技会の結果をもとに選手選考を行う。
但し、感染症等の影響で選考大会に出場できなかった選手がいた場合は、令和7年度に開催された全国大会での実績（日本選手権・インカレ・全国高校陸上・全国中学陸上等）や記録も選考の対象とする。
- 2) 成年男女300mは100m・200m・400mの、少年男女A300m・A300mHは100m・200m・400m・400mHの公認記録も選手選考の参考記録とする。
- 3) 同一の種目でA標準記録を複数の選手が突破している場合は、上位選考競技会の最上位者を選考する。
- 4) リレーの選考について：リレーについては男女とも出場を前提に、国民スポーツ大会選手選考競技会の結果及び昨年度の実績等を参考にリレーの特性を考慮して選考する。特に、混合4×400mRの選考については、100m・200m・400m・400mHの記録を参考とする（成年・少年選手ともに国民スポーツ大会選手選考競技会に出場していることとする）。
出場する場合、A・B標準記録突破者がいない場合でも、リレーに関わる競技者を選考する場合がある。但し、強化委員会で入賞に届かないと判断された場合、リレー種目のチーム編成を見送ることもあり得る。
- 5) 国民スポーツ大会選手内定（決定）後に、怪我や病気等の問題が生じて出場を辞退した場合には、令和7年度の成績等を考慮して、選手を変更する場合がある。
- 6) 派遣標準記録突破者が少ない場合は、国民スポーツ大会出場枠の最大枠である29名以下の選考もあり得る。

4. 選考順序

※第1次選考

※少年男子及び女子のB種目・男女の長距離種目については、令和8年度国民スポーツ大会選手選考競技会の結果を総合的に判断して、国民スポーツ大会の出場の意思があり、かつ入賞の可能性のある競技者を選考する。

- ①令和8年度福島県陸上競技選手権大会（福島県総合スポーツ大会）に参加してないが、トップアスリートの国民スポーツ大会参加資格の特例措置対象者で国民スポーツ大会に出場の意志がある競技者。

※該当競技者が複数名にわたった場合は、選考基準3）を考慮する。

②令和8年度日本陸上競技選手権大会に入賞した競技者。

※該当競技者が複数名にわたった場合は、選考基準3)を考慮する。

③令和8年度福島県陸上競技選手権大会(福島県総合スポーツ大会)で優勝し、派遣標準記録Aを突破した競技者。※成年・少年ともに選考基準3)を考慮する。

④令和8年度国民スポーツ大会選手選考競技会に出場した選手で、派遣するリレー種目に関わる競技者。

※第2次選考(全国高校陸上・全国中学陸上・通信陸上・東北中学・県強化記録会の結果も考慮する)

⑤令和8年度福島県陸上競技選手権大会(福島県総合スポーツ大会)で優勝し、第一次選考後に派遣標準記録Aを突破した少年の競技者。

⑥令和8年度福島県陸上競技選手権大会(福島県総合スポーツ大会)で優勝し、派遣標準記録Bを突破した少年の競技者。

⑥令和8年度福島県陸上競技選手権大会(福島県総合スポーツ大会)を欠場し、令和8年度国民スポーツ大会選手選考競技会で派遣標準記録Aを突破した少年の競技者。※要審議

⑦令和8年度福島県陸上競技選手権大会(福島県総合スポーツ大会)で優勝し、派遣標準記録Bを突破した成年の競技者。

⑦令和8年度福島県陸上競技選手権大会(福島県総合スポーツ大会)を欠場し、令和8年度国民スポーツ大会選手選考競技会で派遣標準記録Bを突破した少年の競技者。

⑦令和8年度福島県陸上競技選手権大会(福島県総合スポーツ大会)で優勝し、派遣標準記録を突破できなかったが、本大会で活躍が期待できると強化委員会からの推薦により選出された少年の競技者。

※選考⑦については国民スポーツ大会での入賞の可能性、将来性を考慮して選考する。

○第80回国民スポーツ大会選手選考競技会

<全種別>・日本陸上競技選手権大会・福島県陸上競技選手権大会(福島県総合スポーツ大会)

<成年>・日本陸連GPシリーズ・全日本実業団・地区実業団・日本インカレ・地区インカレ

・日本学生個人選手権・実業団学生対校・東北総合スポーツ大会

<少年>・全国高校陸上・東北高校陸上競技大会・福島県高校体育大会

・全国中学陸上・東北中学陸上・福島県中学体育大会・全日本中学通信陸上福島県大会

※その他・福島陸上競技協会が指定した競技会

5. 国民スポーツ大会の選手決定について

国民スポーツ大会の選手の最終選考については、国民スポーツ大会選考競技会終了後、強化委員会を開催し原案を作成する。その後、常任委員会の承認を持って国民スポーツ大会の選手の最終決定とする。

6. その他

1) 国民スポーツ大会に選考された選手は、選考後に実施される国民スポーツ大会に向けた強化合宿に参加すること。都合により参加できない選手は、強化委員会担当まで連絡すること。

2) 国民スポーツ大会の選手決定後、故障や内定取り消し等により、選手を変更する場合がある。

3) 国民スポーツ大会出場にあたり、選手およびスタッフは、福島県代表選手として自覚と誇りをもって競技および行動をすることを望む。代表として望ましくない場合は、選考を取り消す場合がある。